

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31年 2月 20日

事業所名 ろはすの家

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			日々整理整頓を行い、療育に必要なスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切である	7			定められた人員以上を確保しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7			玄関先からスロープになっており、バリアフリー化しております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7			改善が必要であると判断した場合、ミーティングを行い、改善策を検討しております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			保護者にもアンケートを行いご意見に対し改善を行っております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	3		ホームページ上で公開予定です。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4		外部評価を受けておりませんが必要時業務改善を行っております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			研修への参加を実施し、伝達講習も行っています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			契約時及び年に一度、アセスメントシートに記入していただき情報を得たうえで個別支援計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			個別支援計画書作成時にスタッフ間で情報共有しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			児童発達支援管理責任者を中心にスタッフ間で話し合い実践しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			児童発達支援管理責任者を中心にスタッフ間で話し合い毎月のプログラムを実践しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			休日や長期休暇には、季節に応じた外出や、平日の時間内ではできないクッキング等の活動を実施しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			子どもたちの特性を把握した個別支援と集団で取り組める活動内容をスタッフ間で共有し計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	2		各子どもの情報を申し送っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			保護者からの情報について申し送りを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			連絡帳・日報等に記録として残し、支援の改善に繋げています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			3か月に1度モニタリングを行い、保護者と支援内容を共有し必要時計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7			自立支援として買い物活動や外出時には基本的なルールを守る支援を実施しています。

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			児童発達支援管理責任者が参加しております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			学校の行事予定を把握し、送迎時には担任の先生と情報共有を行っております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				該当利用者さんはございません。必要時、主治医の意見書を頂き、保護者に指定病院の連絡先を記載して頂きます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	3		保育所など担任の先生からの情報を日々提供していただいております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	3		今後提供できるように努力致します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている				児童発達支援管理責任者は必要に応じて連携を図っていますが、研修は受けていないため、今後の課題です。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある				利用児童のご兄弟などとイベント活動をする場合があります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している				参加できていないため参加できるようにしていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている				送迎時に保護者の方に直接デイや、学校での様子をお話するようにしております。また、連絡帳や写真を見ていただき様子を知っていただくようにしております。
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている				一昨年ペアトレを親の会にて実施致しました。継続したスタッフ研修にも盛り組んで参ります。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている				契約時、重要事項説明書・契約書等にて説明を実施しております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている				送迎時や、個別支援計画書をお渡しする際に必要な助言を実施しております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している				親の会は年1回の実施になっているため、今後は回数を増やし保護者同士の連携を支援していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している				担当者が対応していますが、必要に応じて、直接訪問を実施しております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している				おたよりを毎月発行しております。
	35	個人情報に十分注意している				個人情報の管理について、スタッフに注意喚起しております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている				送迎時など常に保護者と連絡を取るようになっています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている				地域の方々を招待する事はございません。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している				マニュアルの策定は行っておりますが、今後保護者へ周知をして参ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている				定期的に訓練を入れていく予定です。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている				研修に参加したスタッフが伝達講習を実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している				該当利用者さんはございません。必要時お利用者さん・保護者さんの了解のもと、個別支援計画書に記載し実施いたします。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				保護者の方にアレルギーについてアセスメントシートへの記載をお願いしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している				ヒヤリハットがあった場合はミーティング時に報告・対策を話し合っております。